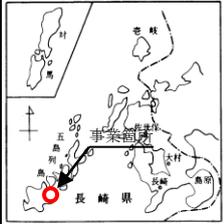
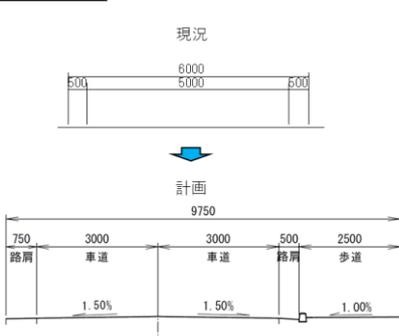


# 再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：五島振興局道路課

担当課長名：島田 省三

事業名	主要地方道福江空港線（上大津工区）		事業区分	主要地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県五島市上大津町 至：長崎県五島市上大津町				延長	1.01km
事業概要	主要地方道福江空港線のうち幅員が狭小で線形が悪い箇所において、2車線化により走行性の向上、観光バス等の移動円滑化、安全安心な生活道路の確保及び緊急輸送道路の機能強化を図る事業。					
H27年度事業化	都市計画決定 なし		H29年度用地着手		H30年度工事着手	
全体事業費	9.5億	事業進捗率	66%	供用済延長	0.54km	
計画交通量	4,042台/日（R22）					
費用対効果分析結果	B/C （事業全体）	1.19	総費用 （残事業）/（事業全体）	13.10/13.10億円		基準年  令和6年
	（残事業）	6.10	事業費：1.98/10.81億円 維持管理費：0.17/0.17億円	走行時間短縮便益：12.15/12.15億円 走行費用減少便益：0.90/0.90億円 交通事故減少便益：0.05/0.05億円		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施					
【全体事業】	交通量変動：B/C=1.07~1.31（交通量 ±10%）		【残事業】		B/C=5.49~6.71（交通量 ±10%）	
	事業費変動：B/C=1.17~1.21（事業費 ±10%）				B/C=5.59~6.70（事業費 ±10%）	
	事業期間変動：B/C=1.14~1.24（事業期間 ±1年）				B/C=5.85~6.24（事業期間 ±1年）	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>線形改良、2車線化による安全な交通の確保</li> <li>福江空港から島内観光地へのアクセス強化</li> <li>防災機能の向上（災害時の緊急輸送道路としての機能強化）</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	「五島市」より整備促進の要望あり。					
事業再評価監視委員会の意見	—					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等	—					
事業の進捗状況、残事業の内容等	令和5年度末までの事業進捗率は66%、用地進捗は71%と進捗しており、今年度も用地取得を継続して行い、令和9年度の事業完成を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地取得において、相続人間の合意形成及び補償内容に関する交渉に時間を要している。今後は地元自治体等と協力しつつ用地取得および工事の進捗を図り、令和9年度の事業完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	—					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。					
事業概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>位置図</b></p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>標準断面図</b></p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>全体計画</b> L=1,010m W=6.0(9.75)m</p>  </div> </div>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。



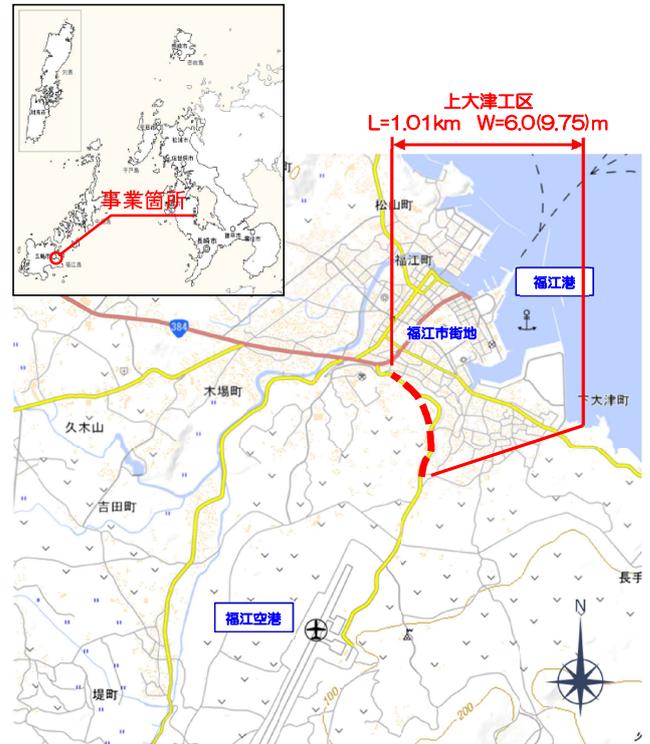
# 令和6年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

## 再評価対象事業

道建-11 道路改築事業  
主要地方道福江空港線  
(上大津工区)

事業主体 長崎県

再評価の理由 事業採択後10年経過  
(事業費・工期)

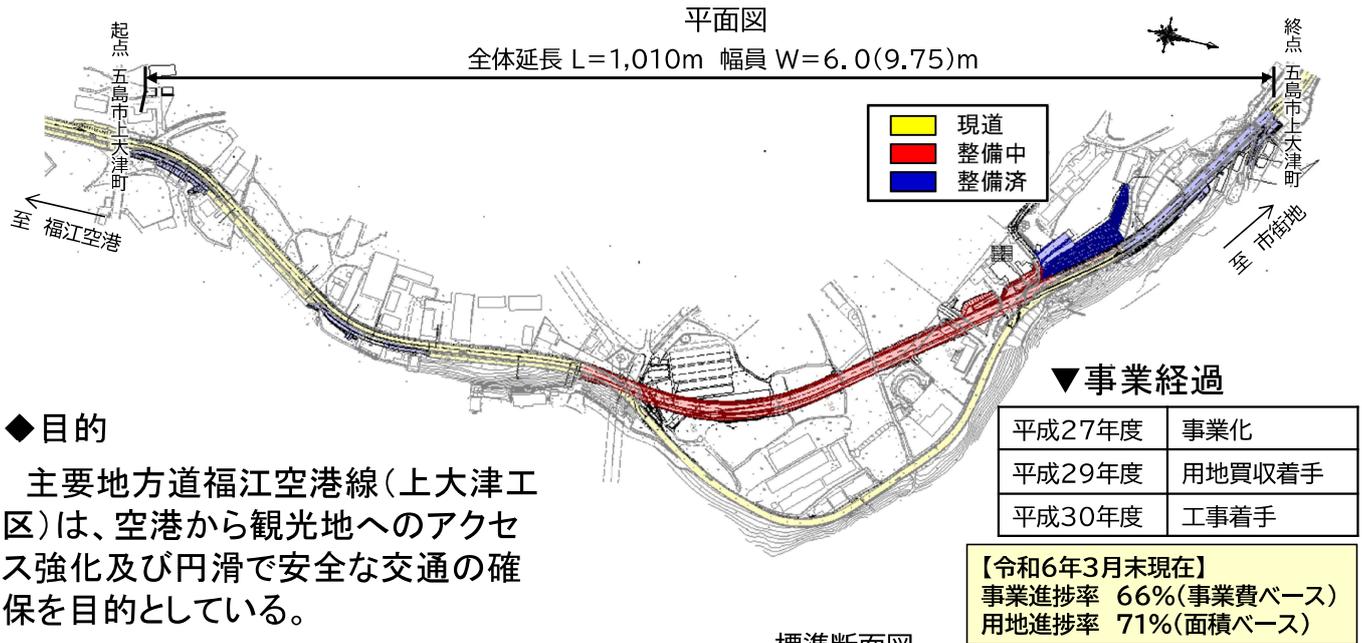


1

## 1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	概要
		着工	完了			
当初 (H27新規)	-	H27	R1	6.0	1.47	【工事概要】 延長1.01km 幅員6.0(9.75)m
土木部内報告 (H31年度)	事業採択後5年経過時 の土木部内報告	H27	R3	7.0	1.29	【当初評価からの変更概要】 物件調査結果による補償費の増額 用地交渉難航による工期延長
第1回審議 (R6年度)	事業採択後 10年経過	H27	R9	9.5	1.19	【前回評価からの変更概要】 法面对策工等の事業費増額 相続人間の合意形成などに時間を 要したことによる工期延長

## 2. 目的・事業概要・これまでの経緯



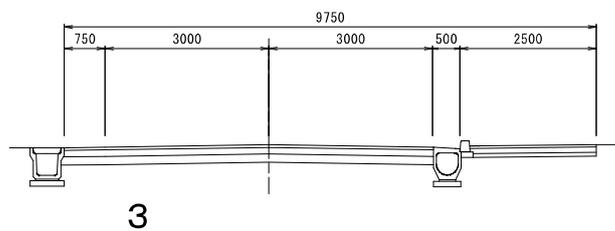
### ◆目的

主要地方道福江空港線(上大津工区)は、空港から観光地へのアクセス強化及び円滑で安全な交通の確保を目的としている。

### ◆事業概要

全体延長	L=1.01km
幅員	W=6.0(9.75)m
計画交通量(R22)	4,042台/日

標準断面図



## 3. 事業の効果・必要性

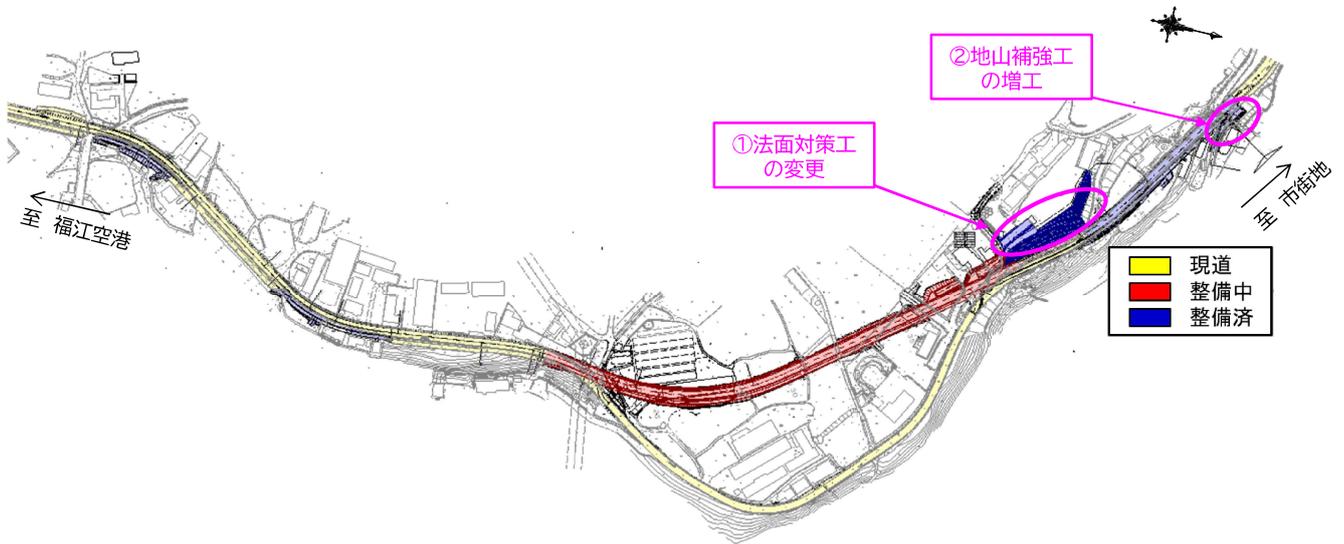
・福江空港から島内観光への起点となる道路であり、観光地へのアクセス強化を図る。



## 4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

【事業費増】7.0億円(前回)⇒ 9.5億円(今回)

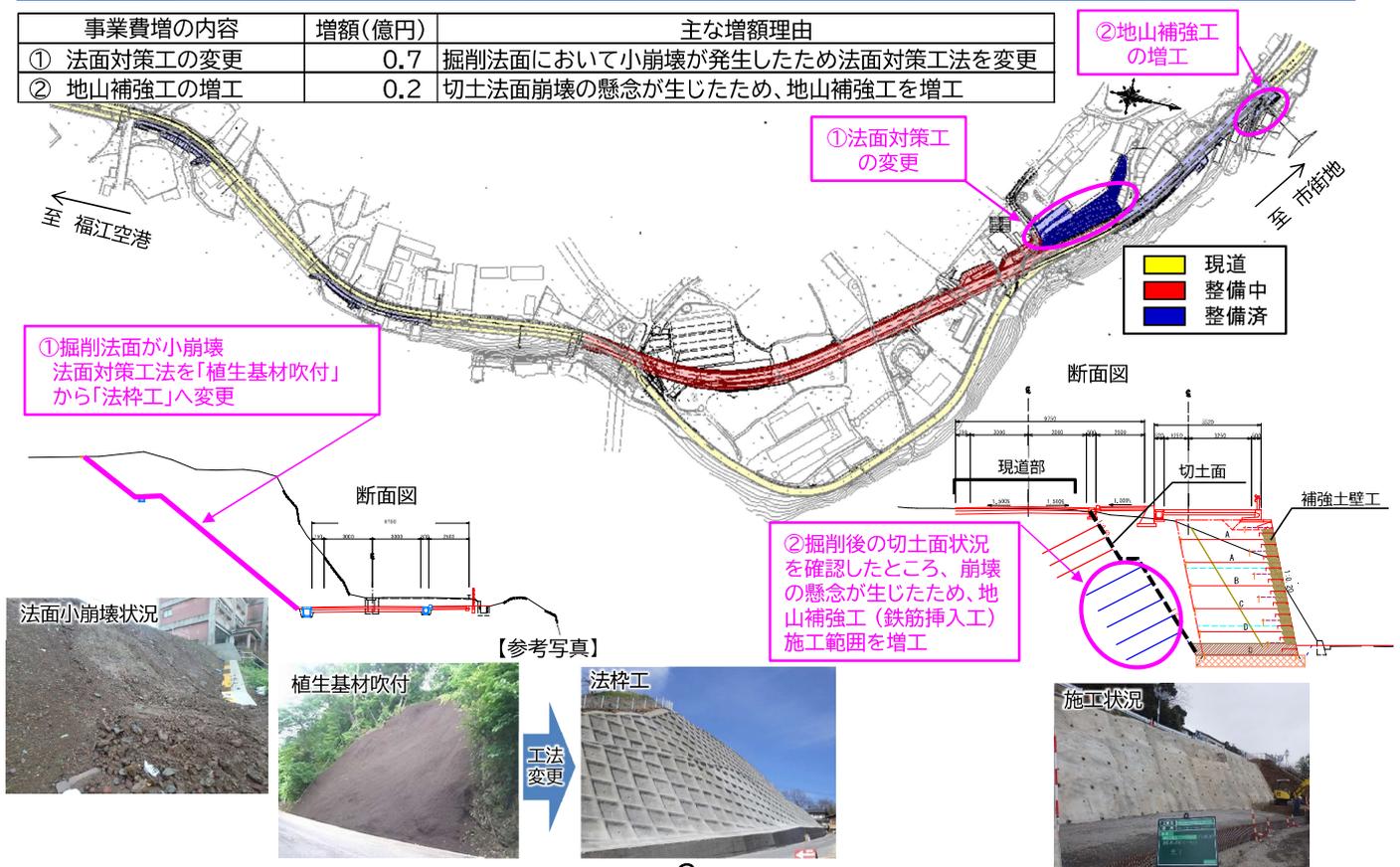
事業費増の内容	増額(億円)	主な増額理由
① 法面对策工の変更	0.7	掘削法面において小崩壊が発生したため法面对策工法を変更
② 地山補強工の増工	0.2	切土法面崩壊の懸念が生じたため、地山補強工を増工
③ その他	1.6	社会情勢の変化による資材・労務費の単価上昇など
計	2.5	



5

## 4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

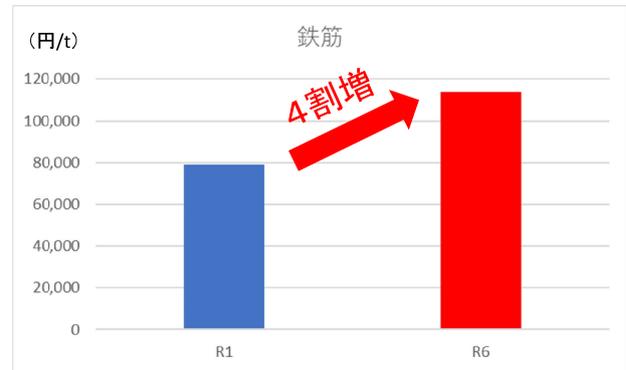
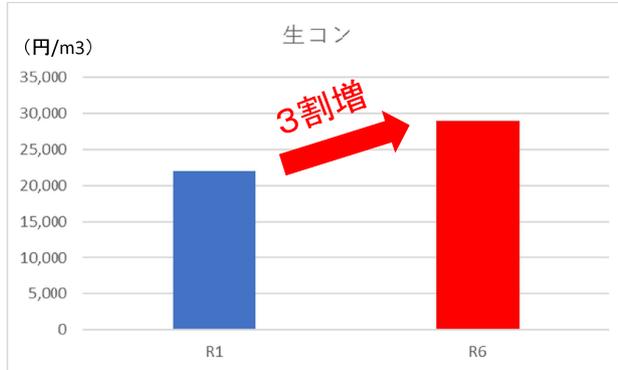
事業費増の内容	増額(億円)	主な増額理由
① 法面对策工の変更	0.7	掘削法面において小崩壊が発生したため法面对策工法を変更
② 地山補強工の増工	0.2	切土法面崩壊の懸念が生じたため、地山補強工を増工



6

## 4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

事業費増の内容	増額(億円)	主な増額理由
③ その他	1.6	社会情勢の変化による資材・労務費の単価上昇など



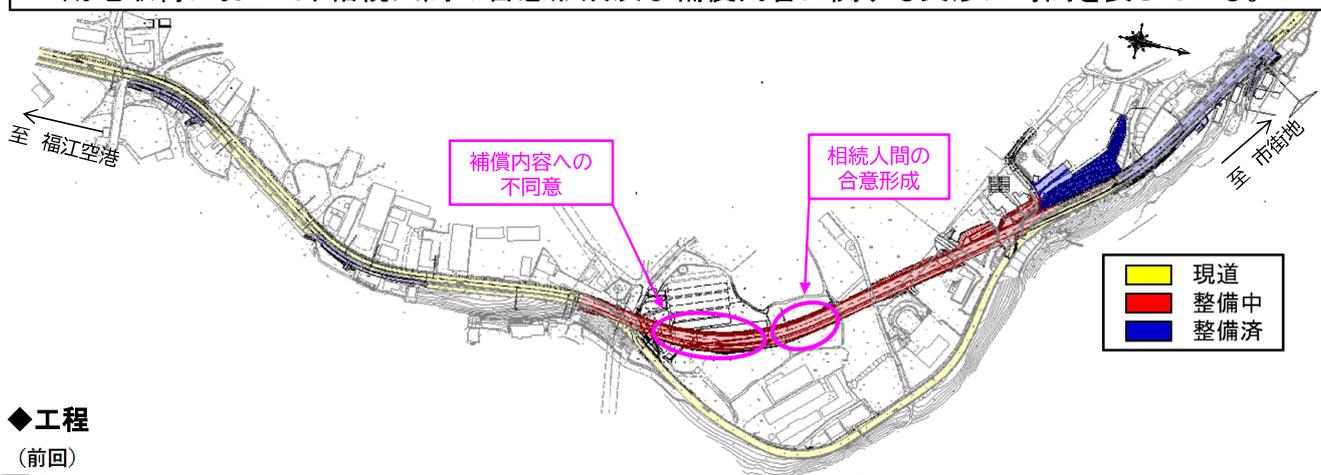
その他材料費や労務費の増額分を計上する。

7

## 4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R3(前回)→R9(今回)

・用地取得において、相続人間の合意形成及び補償内容に関する交渉に時間を要している。



### ◆工程 (前回)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
測量調査設計	■	■	■	■			
用地・補償			■	■	■	■	
工事				■	■	■	■

### (今回)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
測量調査設計	■	■	■	■									
用地・補償			■	■	■	■	■	■	■	■	■		
工事				■	■	■	■	■	■			■	■

8

## 5. 事業の投資効果

### ◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (平成31年度)	今回評価 (令和6年度)
残事業	2.45 = 8.53億円 / 3.39億円	6.10 = 13.10億円 / 2.15億円
全事業	1.29 = 8.53億円 / 6.58億円	1.19 = 13.10億円 / 10.98億円

#### [費用]

- ・道路整備に要する事業費(工事費、用地費)、道路維持管理に要する費用

#### [便益]

- ・走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益

#### [プラス要因]

- ・費用便益分析マニュアルの改定  
→原単位(価格)の増加

#### [マイナス要因]

- ・事業費の増
- ・事業期間の増

### ◆ B/Cでは計測できない効果

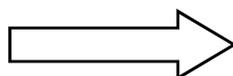
- ・緊急輸送道路の防災機能強化

9

## 6. 対応方針(原案)

- ◆ 主要地方道福江空港線(上大津工区)は、観光等の産業支援及び円滑で安全な交通の確保を図ることを目的としている。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで66%[7.3億円/11.0億円]であり、用地進捗率は71%となっている。(令和6年3月末現在)
- ◆ 上大津工区の前後は改良済みであり、五島市から整備促進を要望されている。
- ◆ 事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果は見込まれる。

対応方針  
(原案)



継続

